

会 議 録

第3回定例会

開会 平成27年5月1日

教育委員会会議録

1 開 会 平成27年5月1日 午後2時30分

2 閉 会 平成27年5月1日 午後3時30分

3 出席委員

委員長	松重 和美
委員	西 泰宏
委員	坂口 裕昭
委員	三牧 千鶴子
委員(教育長)	佐野 義行

4 出席者

副 教 育 長	木下 慎次
教 育 次 長	清水 敏彦
教 育 次 長	栗洲 敬司
教 育 戦 略 課 長	酒巻 英紀
学 校 政 策 課 長	森本 俊明
生 涯 学 習 政 策 課 長	永松 宜洋
教 育 総 務 課 長	勢井 研
教 育 総 務 課 副 課 長	檜本 晃一

[開 会]

委員長 定例会を開会する旨を告げる。

[会議録の承認]

委員長 配付されている会議録を承認して差し支えないかを各委員に諮る。

各委員 異議なし。

委員長 会議録を承認する旨を告げる。

[議 事]

《報告事項3 平成27年度全国学力・学習状況調査について》

委員長 説明を求める。

学校政策課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

特になし

《報告事項4 徳島県社会教育委員会議の提言について》

委員長 説明を求める。

生涯学習政策課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

委員長：地域の人材育成が地方創生の中で注目されているが、具体的な施策はどのようなのか。

生涯学習政策課長：市町村教育委員会にお願いして、学校支援地域本部が中心となり、放課後子供教室や週末等の教育支援事業など定期的にプログラムを実施する取組みが進められている。

三牧委員：学校の要望と地域の要望は違ってくる。それぞれの要望や意見を聞く機会はあるのか。

生涯学習政策課長：市町村教育委員会や学校評議員などを通じて、意見や要望が寄せられている。

教育長：これから社会教育主事に光を当てて、社会教育組織の活性化のために、コーディネーターとしての役割を担っていただく。まさにネットワークづくりとして一つの試みである。

三牧委員：具体策まで道筋が明らかになっているとよい。

生涯学習政策課長：今年度、社会教育ネットワーク推進事業として市町村担当者の研修会を2回、県の研究大会を1回開催して、社会教育のネットワークを広めていくこととしている。

委員長：人的ネットワーク、廃校等の活用など、工夫すればいろいろな形がある。例えば、スポーツを通じたネットワーク、アメリカのCCRCではリタイアメントした人達のコミュニティづくりなどもある。地域に応じた形で展開されればよい。

坂口委員：学校・家庭・地域の連携、高齢者の役割づくりなどは、ずっと前から言われていて、それを地域のニーズに合致する形で現実レベルに落とし込んでいかなければいけない。いつも同じ提言が出てきて現場の不満の声がいつまでたってもなくなるのは、専門的観点からの机上の論理では出来ない部分がたくさんあるのではないか。

放課後子供教室には期待している。既に民間でやって成果が出始めているところに資金援助したり、彼らの主体性を損なわない形で補助に入るといいう下からの姿勢が大事である。予算の裏付けがあるということだが、公募をかけて地域の団体に委託するのか、市町村教委が全面的に主導して入っていくのか。

生涯学習政策課長：地域の実情によって違う。

委員長：社会教育委員会議でまとめられた提言を受けて、実効的な運用については、委員の意見を参考に考えていただければどうか。

教育長：具体的な形に下ろしていくときの手法が大切である。生涯学習政策課の方で具体的な取扱いについて考えていきたい。社会教育委員の選考についても、委員の御意見を参考とさせていただく。

《報告事項5 鳴門教育大学・徳島県教育委員会連携協議会の設置について》

委員長 説明を求める。

教育総務課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

委員長：阿南と美馬におかれるサテライトの場所は、どこが提供するののか。

教育総務課長：両市に協力いただく。

委員長：どういうネットワークを使うののか。

教育総務課長：鳴門教育大学のネットワークと、それぞれの市のネットワークをつなぐこととしている。

《報告事項1 県立高等学校における地域活性化への取組について》

委員長 説明を求める。

教育戦略課長 内容を説明する。

〈質 疑〉

三牧委員：新学科には林業に携わる大人の入学も可能か。

教育戦略課長：中学校卒業後働いている方で、高校進学の意味があれば手続上可能である。社会人については、知事部局と連携しながら検討していきたい。

委員長：中学生でどれくらいの希望があるののか。

教育戦略課長：これから進学希望調査の状況をみていく必要があるが、中学校卒業時に、地元で林業をやりたいという声はいくつかあったと聞いている。

委員長：名称は全国初なので、内容も施設も魅力的なものにしていきたい。また、県内の中学生だけでなく、全国からの募集について検討してはどうか。

教育長：現在、地域の活性化実証実験で、海部高校や那賀高校で県外も可能としている。林業の世界は想像以上に進展しているので、魅力ある森林クリエイト科にしていきたいと考えている。

坂口委員：地域的な特色があり、知事部局の施策とも連動しており、出口戦略も考えられ、入口戦略も今後発展していく可能性があるということで、非常に魅力的な取組みである。出口戦略がキーになると思われるが、既にニーズがあるのか、民間の事業者や大学との連携についての現状や今後の予定を伺いたい。

教育戦略課長：那賀高校の今春の卒業生に、地元の木材産業に就職した生徒が複数いる。こうした実績を広げつつ、林業事業者と連携を図りながら進路を確保していきたい。

西委員：目指す進路といえば「人」である。中学生・高校生が「あの人のようになりたい。」と思えるような、具体的な将来を描ける職人像を林業の中で見せてあげられたら目指す進路として生きてくる。

《報告事項2 平成27年度徳島県公立高等学校入学学力検査集計結果について》

委員長 説明を求める。

教育戦略課長 内容等を説明する。

〈質 疑〉

委員長：少し英語のリスニング関係の成績が悪かったようだが、小学校から英語教育が始まったところであり、数年後には上がってくるのか。

教育戦略課長：今年度の受検生は、学習指導要領にリスニングが入った初年度であり、長文の聞き取りの学習の着手が少し遅れたためではないかと思われる。

[閉 会]

委員長 本日の議事が全て終了したので閉会する旨を告げる。

閉 会 午後3時30分